

西南学院コンサート チャペルコンサート 2016

北ドイツ・響き バロックの音

パイプオルガンとカンタータの世界

Alles, was ihr tut (全てあなたたちの行いは)

2016.1.11 [月・祝] 14:00開演
(13:30開場)

於: 西南学院大学チャペル

出演

安積 道也 (パイプオルガン)

ラ・フォンテヴェルデ

鈴木 美登里 (ソプラノ)
上杉 清仁 (カウンターテナー)
谷口 洋介 (テナー)
小笠原 美敬 (バス)

アンサンブル・プリンチピ・ ヴェネツィアーニ

大内山 薫 (バロックヴァイオリン)
齋藤 佳代 (バロックヴァイオリン)
大津 睦 (バロックヴィオラ)
木下 雄介 (バロックヴィオラ)
五味 敬子 (バロックチェロ)
淡島 宏枝 (バロックファゴット)
笠原 雅仁 (テオルボ)

Program

カンタータ

ディートリヒ・ブクステフーデ (1637頃-1707):
「全てあなたたちの行いは」 *Alles, was ihr tut*, BuxWV4
「何事も、私たちを引き離してはならない」 *Nichts soll uns scheiden*, BuxWV77
ニコラウス・ブルーンズ (1665-1697):
「あふれる涙をおさえ」 *Hemmt eure Tränenflut*
「全地よ、主に向かって喜び歌え」 *Jauchzet dem Herrn alle Welt*

オルガン作品

D.ブクステフーデ: コラール前奏曲
N.ブルーンズ: 「前奏曲ホ短調」 他



パイプオルガン
安積 道也



ソプラノ
鈴木 美登里



カウンターテナー
上杉 清仁



テナー
谷口 洋介



バス
小笠原 美敬



テオルボ
笠原 雅仁



西南学院創立
100周年記念

入場料 一般 3,000円 (前売り2,500円)

学生 500円 (一律)

全席自由 (未就学児の入場はご遠慮ください)

チケット取扱い

(株)キャンパスサポート西南
TEL: 092-823-3274

(株)ヤマハミュージッククリティリング福岡店
TEL: 092-721-7633

お問い合わせ (株)キャンパスサポート西南

TEL: 092-823-3274 URL: <http://www.cs-seinan.co.jp>

〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14-29

主催: 西南学院

後援: 福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞社

北ドイツ・バロックの響き

パイプオルガンとカンタータの世界

Alles, was ihr tut (全てあなたたちの行いは)

チャペルコンサート2016では、バロック期の北ドイツを代表する大オルガニスト、ディートリヒ・ブクステフーデ(1637頃-1707)と、その弟子ニコラウス・ブルーンズ(1665-1697)の作品を取り上げます。彼らの宗教作品は、言葉(=神学)と音楽の内容がはつきり対応しており、それは若きJ.S.バッハに大きな影響を与えました。音楽の中で言葉の内容が十全に語られる手法は、歌詞を持つカンタータにとどまらず、コーラル変奏曲などオルガンによる器楽作品にも適応されています。西南学院大学チャペルのパイプオルガンは、まさにこの時代の北ドイツ様式を有し、両作曲家の作品を演奏するにふさわしいものです。北ドイツ・バロックの響きをお楽しみください。



パイプオルガン
安積 道也
Michiya Azumi

フライブルク国立音楽大学にて教会音楽科ならびに大学院指揮科を最優秀で修了。ドイツ国家資格教会音楽家最高位(カントール)取得。在独中ギンタースタール聖マリア教会音楽監督、ドイツフランス合唱団常任指揮者を兼任。2009年より西南学院音楽主事。学院の音楽事業を手がける傍ら、指揮者・オルガニスト・通奏低音奏者として、国内外で演奏・指導を行っている。

ドイツ・ダイエスハイム合唱指揮講習会講師。新・福岡古楽音楽祭合唱セミナー講師。エリザベト音楽大学非常勤講師。西南学院オラトリオアカデミー常任指揮者。

オルガンをH.ドイチュ、J.ラウクヴィック、通奏低音・チェンバロをR.ヒル、M.ペーリンガーの各氏に師事。



テオルボ
笠原 雅仁
Masahito Kasahara

武蔵野音楽大学声楽科卒業。声楽を宮本昭太、有村祐輔の各氏に師事。英国王立音楽大学、大学院古楽科にてナイジェル・ロジャース、スティーブン・ロバーツの各氏に声楽を、ヤコブ・リンドベルイ氏にリュートを師事。パリ市高等音楽院古楽科にてコレネットをジャン・テュベリ氏に師事。「エリマ」、「カンタル・ロンターノ」等と共に、録音に参加する等、国内外で活躍中。また今夏公演の舞台劇「メアリー・ステュアート」(ダーチャ・マライニ作)にはリュート奏者として出演するなど、様々な分野での活動を広げている。「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」主宰。

ラ・フォンテヴェルデ

鈴木美登里が主宰し、2002年に結成された日本では数少ない本格的マドリガーレ・アンサンブル。16-17世紀初頭イタリアのマドリガーレをレパートリーの中心に据え、マドリガーレの本質である「言葉と音楽の融合」を目指す。年に2回の定期演奏会とクリスマスコンサートを中心に着実な活動を展開。ソリストとしても活躍中の実力派メンバーによって構成されている。2013年よりクラウディオ・モンテヴェルディのマドリガーレ集全9巻の全曲演奏と録音を開始。アルテ・デラル・コレーベルからリリースされた1st.CD「響きの文学」はレコード芸術誌準特選盤に、昨年5月にリリースされた「カルロ・ジェズアルドの芸術」はレコード芸術誌特選盤、朝日新聞「for your Collection」推薦盤に選ばれた。2015年9月には「モンテヴェルディ マドリガーレ集第1巻」がリリースされた。



ソプラノ
鈴木 美登里
Midori Suzuki

神戸に生まれる。京都市立芸術大学声楽科及び同大学院修了。京都音楽協会賞受賞。佐々木成子、中山第一、鳥井晴子、三井ツヤ子に、アンドレア・バランドーニの各氏に師事。1991年、オランダに留学。グレゴリオ聖歌からバロック期に至る声楽音楽を、マックス・ファン・エグモント、レベッカ・スチュワートの各氏に師事。留学中より国内外の多数の古楽グループに参加し演奏活動やレコーディングを行う。2000年に帰国してからは、ソロ活動の他、中世・ルネサンス・初期バロック期の声楽アンサンブルの研究に力を注ぎ、コンサートや講習会など積極的な活動を展開している。マドリガーレ・アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」主宰。



カウンターテナー
上杉 清仁
Sumihito Uesugi

高知県出身。高知大学卒業。同大学院修了。東京藝術大学大学院修士課程、並びに博士後期過程を修了し、博士号(音楽)を取得。パーゼルス・スコラカントルムにてG.テルク、A.シヨル両氏に師事。2000年山梨古楽コンクールにて最高位、「蔵の街」音楽祭賞を受賞。しなやかな美声と的確なテキスト理解による劇的表現には定評がある。また、発声学や発声解剖学にも造詣が深く、発声指導者としても評価が高い。桜美林大学芸術文化学群音楽専修非常勤講師。日本声楽発声学会員。



テノール
谷口 洋介
Yosuke Taniguchi

国立音楽大学声楽科卒業。声楽を宮崎義昭、中村健、大石正治、ヒサコ・タナカの諸氏に、古楽歌唱法をジョン・エルウィス、ゲルト・テルクの諸氏に師事。1998年以降バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の演奏会やCD録音に参加している。1999年バッハ・コレギウム・ジャパン演奏のモンテヴェルディ「ヴェスプロ」でソロビュ。ヘンデル作曲のメサイアや、J.S.バッハ作曲のヨハネ・マタイ受難曲におけるエヴァンゲリスト(福音史家)など、バロック音楽・宗教曲のソリストとしても高い評価を得ている。立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の声楽指導員。



バス
小笠原 美敬
Yoshitaka Ogasawara

東京藝術大学大学院修了。平成14年度文化庁芸術家在外研修員。バッハ・コレギウム・ジャパン、コレギウム・ヴォカール・レгент、ライニッシュ・カントライ、リチエルカール・コンソート等の古楽アンサンブルに参加し、国内外で数多くの演奏会や録音を行う。ソリストとして、また声楽アンサンブルのメンバーとして様々な演奏会や音楽祭への出演を重ね、古楽演奏に精通した希少なバス歌手の一人として、精力的な演奏活動を続けている。「ジョーバン・バロック・アンサンブル」「ペアー・タム・ジカト・キエンシス」各メンバー。



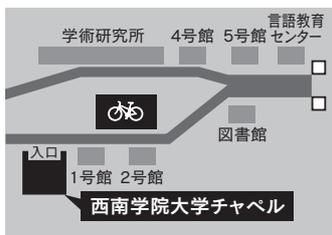
アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ

- 大内山 薫 (バロックヴァイオリン) 齋藤 佳代 (バロックヴァイオリン)
- 大津 睦 (バロックヴィオラ) 木下 雄介 (バロックヴィオラ)
- 五味 敬子 (バロックチェロ) 淡島 宏枝 (バロックファゴット)
- 笠原 雅仁 (テオルボ)

コレネット奏者の上野訓子と声楽家の笠原雅仁を中心にフランスのパリにて結成され、ヨーロッパの主要なバロックオーケストラや、アンサンブル等との共演やCD、テレビ、ラジオ収録などに多数参加する等、初期バロックの音楽、特にイタリア音楽やイタリアに影響を受けた(イタリアの様式を受け継いだ)ドイツ音楽などのレパートリーを中心に演奏活動を行ってまいりました。2008年、夏に拠点をパリから京都に移し、西洋の歴史、文化の発展に大きな役割を果たした初期バロック音楽の素晴らしさを、私たちは皆様にご紹介していきたいと思っております。私達は古楽をただ演奏するというだけではなく、スタイルをより深く掘り下げて研究することで、さらに豊かな響きや音色を備えた音作りを目指し、聞き手の方々と音楽の素晴らしさを共感できる空間を創り出していくように努力を続けています。

ACCESS

※駐車場がございませんので公共交通機関をご利用下さい。



会場への交通案内 (西南学院大学チャペル)

- 地下鉄** 福岡空港～西新駅下車…約17分
博多駅～西新駅下車…約12分
天神～西新駅下車…約8分
※地下鉄西新駅1番出口から徒歩10分
- バス** 博多駅バスセンター～防塁前…約35分
天神～防塁前…約20分
※防塁前バス停から徒歩5分

